別記様式第５号（第９条の２関係）

教育目的実験計画書

年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 実験責任者  所属・職・氏名 |  |
| 実験従事者  所属・職・氏名  （注1） |  |
| 課題名（第二種仕様等の名称） |  |
| 授業名 |  |
| 実施年月日  （注2） |  |
| 実施場所 | （名　称）  （所在地） |
| 実験の概要 |  |
| 実験に使用する宿主・ベクター・供与核酸の組合せ  （注3） | 宿　　主：  ベクター：  供与核酸： |
| 組換え生物等の廃棄の方法  （注4） |  |
| 備考 |  |
| 学科等の長の確認 | 年　　月　　日  （所属・職・氏名） |

計画書記入要領

注1　実験に従事する予定の者を全て記入すること。記入しきれない場合は別紙を付すこと。実施予定期間の期間中に複数回実施する授業等の場合は、その都度別紙にて名簿を提出すること。

注2　実験を行う年月日を全て記入すること。記入しきれない場合は別紙を付すこと。具体的な日付が未定の場合は実施予定時期を記入すること。

注3　使用する宿主、ベクター及び供与核酸について、種名、系統名、クラス等を記入すること。ただし、使用可能な宿主、ベクターは「研究開発等に係る遺伝子組換え生物等の第二種使用等に当たって執るべき拡散防止措置等を定める省令の規定に基づき認定宿主ベクター系等を定める件（平成16年文部科学省告示第7号）の「認定宿主ベクター系(B1)」又は「特定認定宿主ベクター系(B2)」のみとし、使用可能な供与核酸は下記別表に記されているものに限る。

注4　作製した組換え生物等の廃棄の方法について、具体的に記入すること。

別表　使用可能な供与核酸

|  |
| --- |
| （１）以下の蛋白質をコードする遺伝子  amylase  cellulase  galactosidase  glucosidase  green fluorescent protein  luciferase  phosphatase |
| （２）以下の抗生物質の耐性をコードする遺伝子  ampicillin  chloramphenicol  kanamycin  tetracycline |